

令和7年度 社会福祉法人雄心会 事業計画書

令和7年度 社会福祉法人雄心会 事業計画

《基本理念》

「安心できる環境で良質かつ専門的な福祉サービスを提供する」

—実践要綱—

1 良質な福祉サービス

- ・利用者・ご家族の尊厳を尊重し、生き甲斐のある自立した生活を実現できるよう支援する。
- ・専門的な知識と技術を研鑽し、常に地域福祉の先端を目指す。
- ・教育、研究分野に対する積極的な姿勢を持ち、福祉サービスの向上を図る。

2 社会貢献

- ・地域の住民、行政、関係機関と連携を図り、地域の福祉ニーズに積極的に対応する。
- ・地域の皆さんと分け隔てなく支え合う、幅広い福祉サービスを提供する。

3 利用者の満足

- ・思考と行動を利用者中心とし、利用者、家族から信頼される福祉サービスを提供する。
- ・相手を尊重し、温かみある対応を心がけ、心が通じ合う福祉サービスを提供する。

4 職員幸福

- ・職員全員が福祉の心を持ち、自己を高める事ができる人材育成をする。
- ・職員その家族の幸せを考えられる職場作りに努める。

《法人全体の事業計画》

令和4年4月以降、北斗拠点、江差拠点及びせたな拠点の5施設において介護保険事業を中心に基本理念及び実施要綱に則った運営をしています。

さらに、SDGsに賛同し、持続可能な社会の実現に向け積極的に取り組むため、令和6年2月に「サステナビリティ経営方針」を策定、地域住民、ご利用者様及び職員などすべての関係者にとって価値ある法人となることを目指しています。

この方針では、

1 生活を豊かにする介護サービスの提供

- ① 地域密着型介護サービスの実践
- ② 安心安全な介護サービスの提供

2 多様性と働きがいのある職場づくり

- ① 介護人材の積極採用
- ② 人材育成の強化
- ③ 働き方改革の推進

3 環境に配慮した経営の実践

- ① 気候変動の対応
- ② 廃棄物の削減

4 経営体制の強化

- ① 経営管理体制の構築
- ② BCPの策定

を重要課題、取組内容として位置づけ、それぞれに目標を掲げています。

目標の達成に向けては、令和3年度から継続している「魅力ある法人づくりのための3本柱」

- 1 現在の業務を適正なものにするための「業務改善プロジェクト」
- 2 皆が働きやすい環境、待遇を考えるための「環境・待遇改善プロジェクト」
- 3 介護の知識、技術と共に人として成長していくための「人材育成プロジェクト」

を推進体制とするなど次のとおり組織的に取り組みます。

○職員主導による業務効率化を継続的に推進しつつ、全拠点に導入したICT機器の有効的な活用方法を確立します。

また、さらなる時間外労働の削減、有給休暇取得率の増加に取り組み、フレックスタイムの導入、副業・兼業の許可、定年年齢の引き上げによる働き方改革を推進します。

○外国人を含む介護人材の積極採用、外国人介護人材の宗教的な働きやすさの確保を目指した礼拝スペースを全拠点に設置するなどの就労環境整備を推進します。

○人材育成の強化を推進します。

○地域の介護人材の発掘を目的として、介護職員初任者研修・実習生や職場体験の受け入れを実施します。

○地域、行政等との連携を図り、出前講座など社会貢献事業の推進に努めます。

○Co2の削減や環境配慮のため、紙の使用量を削減し、再生エネルギーを導入します。

このような取り組みにより、「働き方改革」に沿った職員のワークライフバランスの充実、働く皆さんが楽しく社会貢献意義を持てるより働きやすい環境とするように、利用者様には質の高いケアを届け、よりよく生きようという意欲を持っていただく、人生はまだ楽しいと思っただくように尽力します。

《介護老人保健施設いなほの事業計画》

1. 事業計画総括

昨年度は、ウィズコロナへ移行し、1年半が経過し、感染予防対策を実施しながら、少しずつではありますが、ボランティアの受入れや行事等も実施して活動の拡大を図り、通常の施設サービスへ戻りつつある一年でした。今年度は、夏祭りの開催等の多くの活動を企画、実施し、利用者様やご家族様が満足していただける施設作りに努めてまいります。

稼働においては、退所者が多く、稼働が低迷し、稼働回復にも時間を要しました。待機者に対し各部署との連携を図り、迅速な対応を行える体制を作りて高稼働を維持できるよう努めてまいります。

従業員全体においては働き方改革の推進や業務改善のための取り組みを実施してまいりました。今までの取り組みについて評価し、更なる効率的、効果的な改善を図り、利用者の安心、安全な生活、職員が働きやすい、働きたくなる施設作りを行ってまいります。

また、今後は専門職が地域に向けた取り組みとして、リハビリ職、歯科衛生士、管理栄養士、介護支援専門員、支援相談員等各専門職が講座を開催し「心身機能」「活動」「参加」のそれぞれの要素にバランスよく働きかけ社会福祉施設の拠点として、地域、行政等との連携を図り、社会貢献事業の推進に努めてまいります。

2. 老 健：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（各ユニット企画）	外出により気分転換や季節感を味わう。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、利用者に楽しい時間を過ごしていただく。
6月	外出ドライブ（各ユニット企画）	外出により気分転換や季節感を味わう。
7月	七夕祭り	地域の子供を招き、日本古来の行事や交流を楽しんでいただく。
8月	いなほ祭り	夏祭り行事として複合型施設と合同開催。各種イベントを企画する。
9月	慶祝会	祝い年齢該当者のお祝いや地域ボランティアを招致する。
10月	紅葉見学ドライブ	紅葉見学から季節の変化を感じてもらう。
11月	調理レクリエーション （各ユニット企画）	旬の食材を使用しリハビリを兼ねた調理を利用者と一緒に行う。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招き、季節にちなんだ食事と催しを楽しんでいただく。
1月	新年会	職員やボランティアによる余興などで新年を皆でお祝いする。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する
3月	調理レクリエーション （各ユニット企画）	旬の食材を使用しリハビリを兼ねた調理を利用者と一緒に行う。

3. 各種委員会運営計画

委員会名	頻 度	目 的
教育委員会	1回/3ヶ月	職員の専門的教育計画を策定し、質の高いケアを実践できるよう指導する。
広報・ボランティア委員会	1回/3ヶ月	福祉活動の拠点となり、地域との連携を大切に活動する。
感染対策委員会	1回/3ヶ月	感染症防止と発生時、適切な対処法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
リスクマネジメント委員会 事故防止委員会	1回/3ヶ月	事故、身体拘束及び虐待の防止と適切な対処方法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
身体拘束・虐待防止委員会	1回/3ヶ月	身体拘束廃止・虐待防止の体制確保について協議・啓発活動
褥瘡委員会	随時	褥瘡発生予防への取り組み
衛生管理委員会	月1回	施設職員の労務環境、健康管理等の維持・改善について協議する。
業務改善委員会（新設）	月1回	利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討する。

《複合型施設いなほの事業計画》

1. 事業計画総括

昨年度は、新型コロナウイルス感染予防対策を継続しながら働き方改革の推進や業務改善のための取り組みを実施してまいりました。

今までの取り組みについて評価し、更なる効率的、効果的な改善を図り、利用者の安心、安全な生活、職員が働きやすい、働きたくなる施設作りを行ってまいります。また、昨年度は1回のみで開催でありました地域住民に向けた認知症予防講座は高い評価を受けております。今後も地域のニーズに即した活動を実施し、社会福祉施設の拠点として、地域、行政等との連携を図り、社会貢献事業の推進に努めてまいります。

2. 特 養：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（各ユニット企画）	季節を感じていただき活動の拡大や気分転換を図る。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、気分転換や他者との交流を図る。
6月	ほあかり合同運動会	他ユニットとの交流や身体を動かす機会を作り、活動場面の拡大を図る。
7月	七夕祭り	日本古来の行事を実施し短冊に長寿等の祈願を行う。また地域の子供と交流や気分転換を図る。
8月	いなほ祭り	夏祭り行事として老健施設と合同開催。他者との交流を図る。
9月	慶祝会	長寿のお祝いや地域ボランティアを招き、交流や気分転換を図る。
10月	紅葉見学ドライブ	紅葉見学から季節の変化を感じていただいたり、活動の拡大や気分転換を図る。
11月	北斗市文化祭見学	地域行事へ参加し、作成した作品を鑑賞し、地域とのふれあい、つながりを感じる。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招いての余興や季節にちなんだ食事と催しを楽しむ。
1月	新年会	職員やボランティアによる余興などで新年を皆でお祝いする。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する。
3月	お雛祭り	入居者と一緒に日本の伝統行事を祝いながら季節を感じつつ交流や気分転換を図る。

3. サ高住：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（お買い物）	季節に合わせた衣服の購入や気分転換、他者との交流を深める。
5月	お花見ドライブ	桜を鑑賞し、季節を感じていただくことで気分転換や他者との交流を図る。
6月	外出ドライブ（外食）	おしゃれをして楽しんでもらいながら、気分転換をしつつ外食を満喫する。
7月	① 外出ドライブ（名所めぐり） ② 七夕祭り	①観光名所等に出かけ、昔を懐かしみながら、地域交流を深める。 ②日本古来の行事を実施し短冊に長寿等の祈願を行う。また地域の子供と交流や気分転換を図る。
8月	① 流しソーメン ② いなほ祭りや地域のお祭り参加	① 季節を感じて頂き気分転換を図る。 ②様々な祭りへ参加し季節感を楽しみ、地域・他者との交流や気分転換を図る。
9月	② 慶祝会 ② 外出ドライブ（お買い物）	①長寿のお祝いや地域ボランティアを招き、交流や気分転換を図る。 ③ 季節に合わせた衣服の購入や気分転換や他者との交流を深める。
10月	① 果物狩り（サクランボ、プルーン等） ② 紅葉見学ドライブ	①自然の中で食べるもぎたての旬の果物を味わい、季節感や交流を深め、気分転換を図る。 ② 紅葉見学から季節の変化を感じる。
11月	北斗市文化祭見学	地域行事へ参加し、作成した作品を鑑賞し、地域とのふれあい、つながりを感じる。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招いての余興や季節にちなんだ食事と催しを楽しむ。
1月	新年会（調理レクリエーション）	利用者と協同しながら料理を楽しみ、気分転換や他者との交流を図る。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する
3月	お雛祭り	入居者と一緒に日本の伝統行事を祝いながら季節感を感じつつ、交流や気分転換を図る。

4. 各種委員会運営計画

新年度も前年度に引き続き、「介護老人保健施設いなほ」と合同開催とする。

《養護老人ホームひのきの事業計画》

1. 事業計画総括

新型コロナウイルスの感染症分類が「5類」へ移行となり、感染防止対策を重視したルールを基に、面会方法の多様化、入所者の外泊許可の再開の継続を行いながら、現在可能な範囲での行事等の実施日常生活の支援を行ってまいりました。この間にも施設内コロナ感染を認め、都度、ゾーニング対応による感染拡大対策と緩和措置の中止を繰り返し、感染防止対策を重視した対応内での緩和のみに留まっていたところにあります。

このことから、今年度は新型コロナウイルスをはじめインフルエンザ等の感染症に関しての正しい知識を習得し、現状の感染症の特徴を捉えながら、感染発症時の速急な対応と短期間での終息に努めて参ります。また、感染症対応など職員をはじめ入所者及び家族、関係機関など適切な理解をいただき、さらなる面会や外出・外泊の制限の緩和を図り、入所者等が適切なルールの中で制限のない日常生活を目指します。通所事業においても、同様に利用者をはじめ家族、関係機関などと共通認識を持ち、屋内外を通じ活動豊かなサービスが提供を図ってまいります。

入所サービスについては、介護ロボット等導入支援事業を活用し見守り機器、お掃除ロボットを導入、環境整備を行い、導入後より有効ある機器の活用を図ってまいりました。昨年度1月より「TANO」（運動・発生・脳活性化トレーニング）を導入し、利用者の「身体・認知機能向上」「生きがい・楽しみ・満足度向上」「生産性向上」への効果が持てる機器の活用を開始。「サービスの質の向上」「職員の幸せ向上」に向け、より一層の業務改善を図りながら、よりよいサービスの提供を実施してまいります。

全事業において、昨年同様、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築し、業務継続に向けた計画等の策定、研修の実施、地域住民参加を含めた訓練（シミュレーション）の実施等、更に檜山地域の医療の基盤である「道立江差病院」との連携を強化し、安定した施設運営、地域支援を目指し取り組んでまいります。

2. 養 護：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	茶話会（各ユニット企画）	季節を感じるお茶菓子などを囲み、気軽に語り合える雰囲気を作り、交流を楽しむ。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、利用者に楽しい時間を過ごしていただく。
6月	屋外レクリエーション 運動会	外出の機会や施設屋外周辺の散歩、近隣の商業施設への買い物、正面玄関の花壇整備など気分転換や余暇活動を楽しむ。 また健康増進を目的とし運動の機会を作る
7月	七夕祭り	地域の子供を招き、日本古来の行事や交流を楽しんでいただく。
8月	外出ドライブ 町内会祭りへの参加	外出の機会を作り四季の変化を味わい又買い物や外食を楽しんでいただく。 柳崎町内会と連携を図り、地域行事への参加を企画及び検討。

9月	敬老会	祝い年齢該当者のお祝いや慰問者等を調整し企画及び実施。
10月	秋祭り	祭り行事として開催。各種イベントを企画する。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭への出展 ・調理レクリエーション (各ユニット企画) ・地域幼稚園お遊戯会 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化祭活動へ余暇活動で作成した作品を出展、見学会も含め地域活動への参加を図る。※施設内出展も含め ・収穫した食材を含め調理内容を企画・調理を利用者と一緒にを行う。 ・地域幼稚園児が来訪し交流を楽しむ
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招き、季節にちなんだ食事と催しを楽しんでいただく。
1月	新年会	職員やボランティアによる余興などで新年を皆でお祝いする。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する。
3月	雛祭り	入所者と一緒に日本の伝統行事を祝いながら季節を感じつつ交流や気分転換を図る

3. 通 所：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	壁画作り、手工芸	ご利用者とともに季節を感じる壁画作り、様々な余暇活動を提供し楽しんでいただく
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、利用者に楽しい時間を過ごしていただく。
6月	屋外レクリエーション (屋外訓練や運動会の企画)	屋内外を通じ運動の機会、活動の機会を提供し健康増進を目的とした運動の機会を作る
7月	七夕祭り	短冊への願い事など、日本古来の行事や交流を楽しんでいただく。
8月	夏祭り ※町内会祭りへの参加	夏祭り行事として開催。各種イベントを企画する。柳崎町内会と連携を図り、地域行事への参加を企画及び検討。
9月	敬老会	祝い年齢該当者のお祝いや慰問者等を調整し企画及び実施。
10月	外出ドライブ	四季の景色を味わってもらい、買い物や外食を楽しんでいただく。

11月	文化祭への出展	地域の文化祭活動へ余暇活動で作成した作品を出展、見学会も含め地域活動への参加を図る。 ※施設内出展も含め
12月	クリスマス会	サンタからのプレゼントや催し物を企画、季節行事を楽しんでいただく。
1月	新年会	催し物(余興や食事など)を企画し、新年を皆でお祝いする。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する。
3月	雛祭り	日本の伝統行事を祝いながら季節を感じつつ交流や気分転換を図る

4. 各種委員会運営計画

委員会名	頻度	目的
教育委員会	1回/3ヶ月	職員の専門的教育計画を策定し、質の高いケアを実践できるよう指導する。
広報・ボランティア委員会	1回/3ヶ月	地域との連携・日常生活におけるレクリエーションや運動の機会、趣味活動などメリハリのある生活が送れるよう企画・運営を行う。
感染対策委員会	1回/3ヶ月	感染症防止と発生時、適切な対処法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
リスクマネジメント事故防止委員会	1回/3ヶ月	ヒヤリハットやインシデントレポートを通じ、介護事故等に対し適切な対処方法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
身体拘束廃止委員会 ・虐待防止委員会	1回/3ヶ月	事故、身体拘束及び虐待の防止についての知識及び理解を深めるとともにリスク管理を行う。 3ヶ月1回の研修会の開催及び外部研修への参加。
褥瘡委員会	年2回	皮膚トラブルへの要因と分析、再発防止など褥瘡予防を図る
業務改善委員会	月1回	業務内容が見える化、有効かつ効率的な業務体制を構築しながら、より良いサービスの提供が行うべく検討を図る。

《特別養護老人ホームきたひやま荘・地域密着型小規模特別養護老人ホームせたな雅荘の事業計画》

1. 事業計画総括

昨年度は、年末年始にかけて施設内でもコロナウイルスやインフルエンザの感染がまん延し、面会などの制限も含め利用者やご家族のみなさんに不自由をおかけする状況になってしまいました。

コロナウイルス感染症は、依然として気を許すことが出来ない状況ですので今後も感染症予防対策を徹底して対応してまいります。

そうした状況下ではありますが、地域に愛される施設として本年度も、利用者や地域の声や要望を真摯に受け止め満足度を追求し、地域との交流を深めながらこの地域に親しまれる施設を目指し、利用者の安心、安全、快適な生活を最大限に心がけた運営に取り組んでまいります。

なお、地域に根付いた社会福祉施設としての役割として、本年度から居宅介護支援事業所を新たに開設して介護保険サービスを受ける要介護者の介護に関する相談や計画、連絡・調整を総合的に引き受け、今まで以上に地域に根付いた社会福祉法人としての役割を全うしてまいります。

また、施設としてもIT化を進め、人材育成の強化、働き方改革の推進等に努め、働いてみたくなるような環境を整備し、SDGsにも賛同した持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを本年度もしてまいります。

2. 特 養：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（各ユニット企画）	外出により気分転換や季節感を味わう。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、利用者に楽しい時間を過ごしていただく。
6月	運動会（ゲーム大会）	健康増進の啓発も含め運動会を企画。
7月	七夕祭り	日本古来の行事を実施し短冊に長寿等の祈願を行う。
8月	納涼祭	夏祭り行事として開催。各種イベントを企画する。
9月	敬老会	祝い年齢該当者のお祝いや慰問者等を調整し企画及び実施。
10月	紅葉ドライブ	紅葉見学から季節の変化を感じていただいたり、活動の拡大や気分転換を図る。
11月	レクリエーション	リハビリを兼ねたゲーム等で楽しいひと時を過ごす。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招き、季節にちなんだ食事と催しを楽しんでいただく。
1月	新年会	カルタやゲームなどで新年を皆でお祝いする。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する。
3月	ひな祭り	日本の伝統行事を祝いながら季節を感じつつ気分転換を図る。

3. 各種委員会運営計画

委員会名	頻 度	目 的
教育委員会 (研修委員会)	1回/3ヶ月	職員の専門的教育計画を策定し、質の高いケアを実践できるよう指導する。
感染対策委員会 (感染症対策委員会)	1回/3ヶ月	感染症防止と発生時、適切な対処法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
安全対策委員会 (事故発生防止委員会)	1回/3ヶ月	ヒヤリハットやインシデントレポートを通じ、介護事故等に対し適切な対処方法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
身体拘束廃止委員会	1回/3ヶ月	事故、身体拘束及び虐待の防止についての知識及び理解を深めるとともにリスク管理を行う。 3ヶ月1回の研修会の開催及び外部研修への参加。
褥瘡委員会	随時	皮膚トラブルへの要因と分析、再発防止など褥瘡予防を図る。
業務改善委員会	月1回	業務内容を見える化、有効かつ効率的な業務体制を構築しながら、より良いサービスの提供が行うべく検討を図る。